

Ⅲ. 財務の概要

1. 資金収支計算書（活動区分含む）の概要

教 教育活動 施 施設整備等活動 他 その他の活動

(単位：億円)			
科目	18年度	19年度	差異
収入の部			
① 学生生徒等納付金収入	290	287	△ 3
手数料収入	12	11	0
寄付金収入	2	3	1
② 補助金収入	55	45	△ 10
（国庫補助金収入）	(37)	(28)	(△ 10)
（地方公共団体補助金収入）	(18)	(18)	(0)
③ 資産売却収入	286	446	160
付随事業・収益事業収入	9	9	0
受取利息・配当金収入	12	12	0
④ 雑収入	13	10	△ 4
借入金等収入	47	47	0
前受金収入	48	57	9
その他の収入	84	144	60
資金収入調整勘定	△ 66	△ 54	13
前年度繰越支払資金	146	156	10
収入の部合計	938	1,173	235
支出の部			
⑤ 人件費支出	202	196	△ 7
⑥ 教育研究経費支出	78	77	△ 1
⑦ 管理経費支出	22	26	5
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	34	39	5
⑧ 施設関係支出	63	102	39
⑨ 設備関係支出	13	35	22
資産運用支出	363	514	152
その他の支出	30	33	3
資金支出調整勘定	△ 23	△ 27	△ 4
翌年度繰越支払資金	156	177	21
支出の部合計	938	1,173	235

<参考> 活動区分資金収支計算書 (単位：億円)

区分		18年度	19年度	差異
教育活動	収入計	370	363	△ 7
	支出計	303	298	△ 4
	調整勘定等	△ 1	10	11
	収支差額	67	75	8
施設整備等活動	収入計	23	50	27
	支出計	76	137	61
	調整勘定等	△ 7	22	29
	収支差額	△ 60	△ 66	△ 6
その他の活動	収入計	410	577	167
	支出計	408	565	158
	調整勘定等	0	0	0
	収支差額	3	12	9
支払資金の増減額		10	21	11
前年度繰越支払資金		146	156	10
翌年度繰越支払資金		156	177	21

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

※ () は内数です。

資金収入の部

- ① 学生生徒等納付金収入 **教**
学生・生徒数は、工大・常翔中・啓光中が増加、摂大・広国大・常翔高・啓光高で減少となり、全体として3億円の減額となりました。
- ② 補助金収入 **教 施**
経常費補助金では、工大・広国大・常翔中高・啓光高で減額、摂大・啓光中で増額となりました。
施設整備費補助金では、摂大寝屋川キャンパス8号館耐震改修工事など私立学校施設整備費補助金2億円が採択されましたが、前年度に同補助金11億円の採択があったことから、補助金合計で10億円の減額となりました。
- ③ 資産売却収入 **施 他**
有価証券の償還のほか、広国大広島キャンパスおよび呉南キャンパスの売却収入がありました。
- ④ 雑収入 **教**
退職金財団交付金収入が3億円の減額となり、全体として4億円の減額となりました。

資金支出の部

- ⑤ 人件費支出 **教**
教員・職員人件費および役員報酬支出は前年度並みに推移し、退職金支出で7億円の減額となりました。
- ⑥ 教育研究経費支出 **教**
経常的経費に加え、摂大情報処理教育機器更新費、農学部設置経費、広国大呉キャンパス体育館改修工事などの支出がありました。
- ⑦ 管理経費支出 **教**
学生生徒募集および教育研究活動以外の施設設備の修繕・保全に係る経常的経費に加え、私立学校振興共済事業掛金等の額の見直しによる過年度修正およびその他の管理経費支出などがあり、5億円の増額となりました。

主な施設・設備関係支出

- ⑧ 施設関係支出 **施**
▶ 工大大宮キャンパス4号館新築工事
▶ 摂大枚方キャンパス8号館新築工事
▶ 広国大東広島キャンパスActiveWellnessセンター新築工事
- ⑨ 設備関係支出 **施**
▶ 摂大情報処理教育機器備品
▶ 摂大枚方キャンパス農学部設置関係備品
▶ 広国大東広島キャンパス健康スポーツ学部設置関係備品

<参考> 活動区分資金収支計算書

資金収支計算書を3活動に区分して記載したものです。
支払資金は前年度に比べ21億円の増額となりました。

資金収支計算書の目的（学校法人会計基準第6条）

1年間の活動に対応するすべての収入と支出の内容、支払資金の収入と支出のてん末を明らかにします。

2. 事業活動収支計算書の概要

(単位：億円)

科目		18年度	19年度	差異
教育活動収支	学生生徒等納付金	290	287	△ 3
	手数料	12	11	0
	寄付金	2	4	2
	経常費等補助金	45	43	△ 1
	付随事業収入	9	9	0
	雑収入	13	10	△ 4
	収入計	370	365	△ 6
	人件費	202	197	△ 5
	(退職給与引当金繰入額)	(14)	(8)	△ (6)
	教育研究経費	127	126	△ 1
	(減価償却額)	(49)	(48)	(△ 1)
	管理経費	29	32	4
	(減価償却額)	(7)	(7)	(0)
教育活動外収支	徴収不能額等	0	0	0
	支出計	358	356	△ 2
	収支差額	13	9	△ 4
	受取利息・配当金	12	12	0
	収入計	12	12	0
	借入金等利息	0	0	0
	支出計	0	0	0
	収支差額	12	12	0
	経常収支差額	24	21	△ 4
特別収支	資産売却差額	4	15	11
	その他の特別収入	13	3	△ 9
	収入計	17	19	2
	資産処分差額	3	1	△ 1
	その他の特別支出	0	1	1
	支出計	3	3	0
	収支差額	14	16	1
	基本金組入前当年度収支差額	39	36	△ 2
	基本金組入額	△ 25	△ 62	△ 36
	当年度収支差額	13	△ 25	△ 39
	前年度繰越収支差額	△ 250	△ 237	13
	基本金取崩額	0	0	0
	翌年度繰越収支差額	△ 237	△ 263	△ 25

(参考)

事業活動収入計	399	395	△ 4
事業活動支出計	361	359	△ 2

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

※ () は内数です。

教育活動収支

経常的な収支のうち、教育・研究活動による収支です。

収入は、学生生徒等納付金、手数料、経常費等補助金、雑収入等で365億円となりました。

支出は、人件費、教育研究経費、管理経費で356億円となり収支差額は9億円の収入超過となりました。

2018年度決算額との比較

収入減額の主な要因は、摂大・広国大の入学人数減少における学生生徒等納付金の減額が挙げられます。支出減額の主な要因は人件費の退職給与引当金繰入額の減額が影響しています。

教育活動外収支

経常的な収支のうち、財務活動による収支です。

受取利息・配当金は12億円となりました。

経常収支差額 (5.5%)

「教育活動収支差額」と「教育活動外収支差額」の合計は、21億円の収入超過となりました。

特別収支

経常収支以外の臨時的な収支です。資産の売却や処分による収支、施設設備に係る寄付や補助金などの収入があります。

資産売却差額(収入)では、広国大広島キャンパスの土地・建物や退職年金引当特定資産の売却による収入などがありました。

その他の特別収入では、摂大寝屋川キャンパス8号館耐震改修工事に係る施設設備補助金などがありました。

資産処分差額(支出)では、建物・構築物・教育研究用機器備品・管理用機器備品・図書などの処分差額がありました。

基本金組入前当年度収支差額 (9.2%)

「経常収支差額」と「特別収支」の合計は、36億円の収入超過となりました。

基本金組入額

主な第1号基本金への組入額は以下のとおりです。

- ▶ 摂大枚方キャンパス8号館新築工事
- ▶ 広国大東広島キャンパスActiveWellnessセンター新築工事
- ▶ 摂大枚方キャンパス農学部設置関係備品
- ▶ 2016年度工大梅田キャンパス建設資金に係る借入金返済額
- ▶ 2017年度摂大寝屋川キャンパス日本ペイントHD(株)跡地取得に係る借入金返済額

当年度収支差額

基本金を組み入れた結果、25億円の支出超過となりました。

事業活動収支計算の目的 (学校法人会計基準第15条)

- ① 1年間の活動に対応する事業収入・支出を3活動に区分経理し、その内容を明らかにします。
- ② 基本金組入後の収支均衡の状態を明らかにします。

基本金への組入れ (学校法人会計基準第30条)

学校法人は教育研究活動を行っていくために、校地や校舎など永続的に保持すべき資産を自己資金で用意しなければなりません。そのため、事業活動収入からその保持すべき資産の金額相当を差し引きます。

3. 貸借対照表の概要

(単位：億円)

科目		19年度	18年度	差異
資産の部	固定資産	2,286	2,232	54
	有形固定資産	1,567	1,520	47
	(土地)	(499)	(513)	(△ 14)
	(建物・構築物)	(875)	(845)	(30)
	(教育研究用機器備品)	(67)	(47)	(19)
	(図書)	(96)	(96)	(0)
	特定資産	505	511	△ 6
	(第3号基本金引当特定資産)	(43)	(43)	(0)
	(退職給与引当特定資産)	(112)	(111)	(2)
	(将来計画引当特定資産)	(228)	(247)	(△ 19)
	その他の固定資産	215	201	13
	(有価証券)	(212)	(195)	(18)
	流動資産	239	231	8
負債の部	(現金預金)	(177)	(156)	(21)
	(未収入金)	(10)	(24)	(△ 13)
	(有価証券)	(49)	(49)	(0)
	資産の部合計	2,526	2,464	62
	固定負債	248	246	3
	(長期借入金)	(136)	(134)	(2)
純資産の部	(退職給与引当金)	(112)	(111)	(1)
	流動負債	142	120	22
	(短期借入金)	(45)	(39)	(7)
	(前受金)	(57)	(48)	(9)
	合計	391	365	25
純資産の部	基本金	2,398	2,336	62
	第1号基本金	2,331	2,269	61
	第2号基本金	0	0	0
	第3号基本金	43	43	0
	第4号基本金	24	24	0
	繰越収支差額	△ 263	△ 237	△ 25
	翌年度繰越収支差額	△ 263	△ 237	△ 25
合計		2,135	2,098	36
負債及び純資産の部合計		2,526	2,464	62

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

※ () は内数です。

資産の部

有形固定資産

摂大枚方キャンパス・広国大東広島キャンパスの建物の増額、広国大広島キャンパスの土地、建物の減額などにより、全体で47億円の増額となりました。

特定資産

本学では、第3号基本金引当特定資産のほか、退職給与関係引当、教育研究引当、資金運用引当、将来計画引当特定資産があります。

将来計画引当特定資産の取崩しなどにより、6億円の減額となりました。

流動資産

現金預金の増額と、20年度入金予定収入を長期未収入金から振り替えたことなどにより、8億円の増額となりました。

負債の部

固定負債

私学事業団及び市中銀行からの借り入れにより、長期借入金が増額となりました。

流動負債

1年以内に返済の必要がある短期借入金などの増額などにより、前年度に比べ22億円の増額となりました。

純資産の部

基本金

基本金組入対象資産（建物・構築物・教育研究用機器備品・管理用機器備品・図書等）が前年度に比べ62億円の増額となりました。

繰越収支差額

前年度繰越収支差額に当年度繰越収支差額を加算した翌年度繰越収支差額は263億円の支出超過となりました。

貸借対照表

資産、負債および純資産（基本金、繰越収支差額）の3つの部からなり、期末（年度末）の財政状態を明らかにします。

基本金の種類

- 第1号基本金・・・校地、校舎、機器備品、図書等の有形固定資産の取得価格
- 第2号基本金・・・将来計画資産を取得する目的で積み立てた預金等の額
- 第3号基本金・・・奨学基金などの基金の額
- 第4号基本金・・・運営に必要な運転資金の額（文部科学省の定める額）

4. 財務状況の5ヵ年推移

TOPICS

2015年度
▶ 摂南大学枚方キャンパス土地購入
2016年度
▶ 大阪工業大学梅田キャンパス竣工
▶ 摂南大学寝屋川キャンパスクラブハウス新築
2017年度
▶ 3大学にて学費改定
▶ 摂南大学寝屋川キャンパス日本ペイント跡地取得
▶ 常翔啓光学園音楽棟及びクライミングウォール竣工
2018年度
▶ 大阪工業大学大宮キャンパス3号館竣工
▶ 広島国際大学呉キャンパス教育会館・クラブハウス竣工
2019年度
▶ 摂南大学枚方キャンパス8号館竣工
▶ 広島国際大学東広島キャンパスActiveWellnessセンター竣工

4-1 資金収支計算書の推移（2015年度～2019年度）

（単位：億円）

科目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
収入の部					
学生生徒等納付金収入	290	288	287	290	287
手数料収入	10	10	11	12	11
寄付金収入	1	2	2	2	3
補助金収入	43	44	56	55	45
(国庫補助金収入)	(26)	(26)	(38)	(37)	(28)
(地方公共団体補助金収入)	(17)	(17)	(18)	(18)	(18)
資産売却収入	151	157	208	286	446
付随事業・収益事業収入	9	10	10	9	9
受取利息・配当金収入	11	14	11	12	12
雑収入	11	14	12	13	10
借入金等収入	39	75	46	47	47
前受金収入	49	51	49	48	57
その他の収入	50	98	145	84	144
資金収入調整勘定	△ 59	△ 57	△ 69	△ 66	△ 54
前年度繰越支払資金	115	137	139	146	156
収入の部合計	719	843	907	938	1,173
支出の部					
人件費支出	200	196	203	202	196
教育研究経費支出	64	67	76	78	77
管理経費支出	20	22	20	22	26
借入金等利息支出	1	0	0	0	0
借入金等返済支出	15	32	23	34	39
施設関係支出	57	117	74	63	102
設備関係支出	10	18	11	13	35
資産運用支出	213	247	342	363	514
その他の支出	20	26	31	30	33
資金支出調整勘定	△ 16	△ 21	△ 19	△ 23	△ 27
翌年度繰越支払資金	137	139	146	156	177
支出の部合計	719	843	907	938	1,173

注1) 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

注2) () は内数です。

4-2 事業活動収支の推移（2015年度～2019年度）

（単位：億円）

科目		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
教育活動収支	学生生徒等納付金	290	288	287	290	287
	手数料	10	10	11	12	11
	寄付金	1	2	1	2	4
	経常費等補助金	41	42	44	45	43
	付随事業収入	9	10	10	9	9
	雑収入	11	14	12	13	10
	収入計	362	367	365	370	365
	人件費	195	197	201	202	197
	（退職給与引当金繰入額）	(9)	(10)	(13)	(14)	(8)
	教育研究経費	112	115	127	127	126
	（減価償却額）	(47)	(48)	(51)	(49)	(48)
	管理経費	27	29	28	29	32
	（減価償却額）	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)
	支出計	334	342	355	358	356
	収支差額	28	25	10	13	9
教育活動外収支	受取利息・配当金	11	14	11	12	12
	収入計	11	14	11	12	12
	借入金等利息	1	0	0	0	0
	支出計	1	0	0	0	0
	収支差額	10	13	10	12	12
経常収支差額		38	38	20	24	21
特別収支	資産売却差額	7	6	5	4	15
	その他の特別収入	4	3	13	13	3
	収入計	11	9	18	17	19
	資産処分差額	2	2	1	3	1
	その他の特別支出	0	0	0	0	1
	支出計	2	2	1	3	3
	収支差額	8	7	16	14	16
基本金組入前当年度収支差額		46	45	36	39	36
基本金組入額		△ 30	△ 39	△ 41	△ 25	△ 62
当年度収支差額		16	6	△ 5	13	△ 25
前年度繰越収支差額		△ 268	△ 251	△ 245	△ 250	△ 237
基本金取崩額		0	0	0	0	0
翌年度繰越収支差額		△ 251	△ 245	△ 250	△ 237	△ 263

（参考）

事業活動収入計	383	389	394	399	395
事業活動支出計	337	344	357	361	359

注1）単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

注2）（ ）は内数です。

4-3 事業活動収支関係比率の推移（2015年度～2019年度）

（単位：%）

比率	算式（×100）	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	12.1	11.6	9.2	9.7	9.2
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	77.8	75.7	76.4	76.0	76.3
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	11.3	11.2	14.2	13.8	11.5
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.6	0.8	0.6	0.9	1.3
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	52.4	51.8	53.6	52.9	52.3
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	30.0	30.3	33.7	33.2	33.6
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	7.3	7.7	7.3	7.5	8.5

注）小数点第2位以下を四捨五入しています。

4-4 貸借対照表の推移（2015年度～2019年度）

（単位：億円）

科目		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
資産の部	固定資産	1,985	2,156	2,193	2,232	2,286
	有形固定資産	1,403	1,484	1,510	1,520	1,567
	（土地）	(453)	(454)	(524)	(513)	(499)
	（建物・構築物）	(707)	(865)	(837)	(845)	(875)
	（教育研究用機器備品）	(53)	(54)	(49)	(47)	(67)
	（図書）	(94)	(95)	(95)	(96)	(96)
	特定資産	560	591	522	511	505
	（第3号基本金引当特定資産）	(43)	(43)	(43)	(43)	(43)
	（退職給与引当特定資産）	(109)	(112)	(111)	(111)	(112)
	（将来計画引当特定資産）	(279)	(345)	(268)	(247)	(228)
	その他の固定資産	22	80	161	201	215
	（有価証券）	(15)	(76)	(146)	(195)	(212)
負債の部	流動資産	273	199	217	231	239
	（現金預金）	(137)	(139)	(146)	(156)	(177)
	（有価証券）	(123)	(50)	(62)	(49)	(49)
	資産の部合計	2,258	2,355	2,410	2,464	2,526
純資産の部	固定負債	173	227	238	246	248
	（長期借入金）	(61)	(113)	(126)	(134)	(136)
	（退職給与引当金）	(112)	(113)	(111)	(111)	(112)
	流動負債	106	104	113	120	142
	（短期借入金）	(32)	(23)	(34)	(39)	(45)
	（前受金）	(49)	(51)	(49)	(48)	(57)
純資産の部	合計	280	331	351	365	391
	基本金	2,230	2,269	2,310	2,336	2,398
	第1号基本金	2,114	2,204	2,245	2,269	2,331
	第2号基本金	50	0	0	0	0
	第3号基本金	43	43	43	43	43
	第4号基本金	23	23	23	24	24
	繰越収支差額	△ 251	△ 245	△ 250	△ 237	△ 263
	合計	1,978	2,023	2,060	2,098	2,135
	負債及び純資産の部合計	2,258	2,355	2,410	2,464	2,526
	（参考）					

減価償却累計額	802	844	879	910	929
---------	-----	-----	-----	-----	-----

注1) 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

注2) () は内数です。

4-5 貸借対照表関係比率の推移（2015年度～2019年度）

（単位：％）

比率名称	算式（×100）	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	87.9	91.5	91.0	90.6	90.6
流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	12.1	8.5	9.0	9.4	9.5
内部留保構成比率	$\frac{\text{運用資産}-\text{総負債}}{\text{総資産}}$	24.6	22.3	21.8	22.1	21.9
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	256.8	190.7	192.8	193.1	168.2
積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	83.0	85.7	84.8	85.6	87.0
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	14.1	16.4	17.0	17.4	18.3
基本金比率 （第1号基本金）	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	95.9	94.8	94.0	93.4	93.8

注1) 小数点第2位以下を四捨五入しています。

注2) 運用資産・・・現金預金＋有価証券＋特定資産

注3) 要積立額・・・減価償却累計額＋退職給与引当金＋第2号基本金＋第3号基本金